２０２５年　5月作成

富田林市立藤沢台小学校

２０２５年度からSE校として取り組むにあたって・・・

★前年２０２４年度には★

研究教科「算数」一年目

・「個が輝く授業づくり」のために、「思考ツール」の重要性を確認。

（テープ図・ドット図・数直線図・数直線・イメージ図）

・夏季校内研で樋口万太郎先生による算数研修。

・6年生のゴールに向けて、1年生からノートを中心とした取り組みを、次年度から計画的に行うことを共通認識する。

「学習用具のきまり」

研修部から、子ども達に筆箱の中身についてお話をする。２０２５年度から、児童全員が学習道具をきちんと揃えてスタートできるように…（視覚支援のためにも、赤・青の鉛筆の徹底。）

★２０２５年度４月～★

SEより提案

・よりキャッチーなテーマを全職員で考える。

・月1回のSE交流

・１～２年生⇒算数専科による授業参観・相談会　３～６年生⇒算数専科による習熟度別授業

・ノート指導の徹底⇒算数専科がノート案を配布し、コースが違っていても同じ引き出し（問題解決をするための手立て）をつくれるようにする。

昨年度から引き続き取り組んでいるもの

・指導案には「授業者の熱い思い」を⇒校内研究授業の指導案を作成する際には、個が輝く授業づくりのために、指導者がこだわったポイントを明確にする。

・研究授業後の討議会⇒グループ討議後は、学年で集まる時間を確保し、次の校内研までに取り組むこと・継続することを明確にする。

・朝学の充実⇒思考ツールの定着のためのプリント準備。昨年度は『イメージトレーニングドリル』（出典：かもがわ出版）の活用。